

鳴滝通信最終号

～夢や希望をもって自ら学ぶ鳴滝生～

令和2年3月13日
京都市立鳴滝総合支援学校
校長 玉梶香織

令和元年度の全授業が終了しました。2月に入り、感染症拡大防止に関する対応のため、臨時休業期間が入ったり、修了式の日が早まったりと、予定とは違う流れで日々過ぎていく中、児童生徒にいたってはその都度臨機応変に対応し、1日1日を大切に過ごすことができました。

来週からも臨時休業日が続き、その後春季休業期間に入ります。不要不急の外出を控え、体調管理につとめて下さい。またこの機会にぜひ、1年を振り返り、「できたこと」「成長したこと」や「これからがんばりたいこと」「今後の課題」などを整理しておきましょう。そうすることで自信も生まれ、「来年度もがんばるぞ！」という意欲もわいてくると思います。

保護者の皆さん、令和元年度の学校運営にご理解・ご協力いただき、ありがとうございました。来年度も、引き続きどうぞよろしくお願ひいたします。

第43回 卒業証書授与式

3月6日（金）、卒業証書授与式が挙行され、校長から生活産業科22名に卒業証書が授与されました。気遣いができる優しい生徒たちで、後輩からも大変信頼されていました。

在校生代表からの送辞を受け、卒業生からは答辞として、3年間の振り返りや後輩へのメッセージが述べられました。卒業生が残してくれた言葉をしっかりと受け止め、4月からも頑張っていきましょう。

時代は平成から令和と移り変わり、初めての春を迎えました。
（中略）
また、生活産業科の私たちにとって、将来の自立を目指した職場実習を抜きにこの3年間を語ることはできません。

（中略）
時代は平成から令和と移り変わり、初めての春を迎えました。
（中略）
また、生活産業科の私たちにとって、将来の自立を目指した職場実習を抜きにこの3年間を語ることはできません。

先生方は、厳しく指導をして下さったり、優しく見守って下さったりと、その時に必要な指導を行つて下さいました。
自分の課題と向き合うことは、とてもつらく逃げ出したりましたが、そんな時、まわりを見ると、課題はちがうけれど同じように悩み、苦しむ友達がいることに気が付きました。
自分の悩みは誰にもわかるはずがないと思つていたのですが、「一人ではない」「悩みのない人はいない」と感じた時に、自分の殻を破る勇気がわいてきました。

（中略）
時代は平成から令和と移り変わり、初めての春を迎えました。
（中略）
また、生活産業科の私たちにとって、将来の自立を目指した職場実習を抜きにこの3年間を語ることはできません。

在校生の皆さん、学校生活の一日一日では、自分の成長に気付かないかもしれません。私も3年生のこの時期になってみて、「自分も成長したんだな」と振り返ることができるようになりました。だからこそ、皆さんも一日一日を大切に過ごしてください。そうして過ごした一日が、皆さんの明るい未来につながっていくのです。皆さんそれぞれに、自分の道を切り開いていくください。応援しています。



今後の予定

4月 8日（水） 着任式・始業式
9日（木） 入学式
10日（金） 身体計測
10日（金）～16日（木） 特別時間割
15日（水）～22日（水） 家庭訪問期間
29日（祝） 休日参観日



※ 予定は、変更になることがあります。4、5月の予定については、新年度に改めてお知らせします